

鈴鹿 愛知川水系 神崎川本流

2016年7月24日(日) 曇り時々晴れ

メンバー: 池田T(記録)、佐藤Y、磯部S

花崗岩の明るい沢。淵泳ぎが多い一方でクライミング要素は少ない。沢登り初心者でも泳ぎが苦手
でなければOK。

泳ぎ疲れたが良い練習になった。入渓パーティーは他にも多数。人気ルートである。

愛知川沿いの国道421号線から神崎川沿いの林道に入るのだが、入口は金網のゲートがあるので
車は入れない。ゲート前には既に多数の車が止めてあったので、我々は国道を石樽トンネル方面に
200m程戻った所の駐車スペースに停めた。

林道を40分ほど歩いた後、河原に降りる道に入る。すぐに現れる堰堤は左岸側のハシゴを登って堰堤
上を歩いて右岸に降りる。



ここから入渓。しばらくは河原歩き。



やっと沢らしくなってきた



比較的易しそうな左岸に回り込む



"S字狭" 視線の先が渦を巻いていたので無理せず左岸を巻いた



明るくて開けた沢である



ツメカリ谷と出会う少し手前。泳いで突破！



"40mの長瀬"は水量が少なかったためか、20~30mだった。



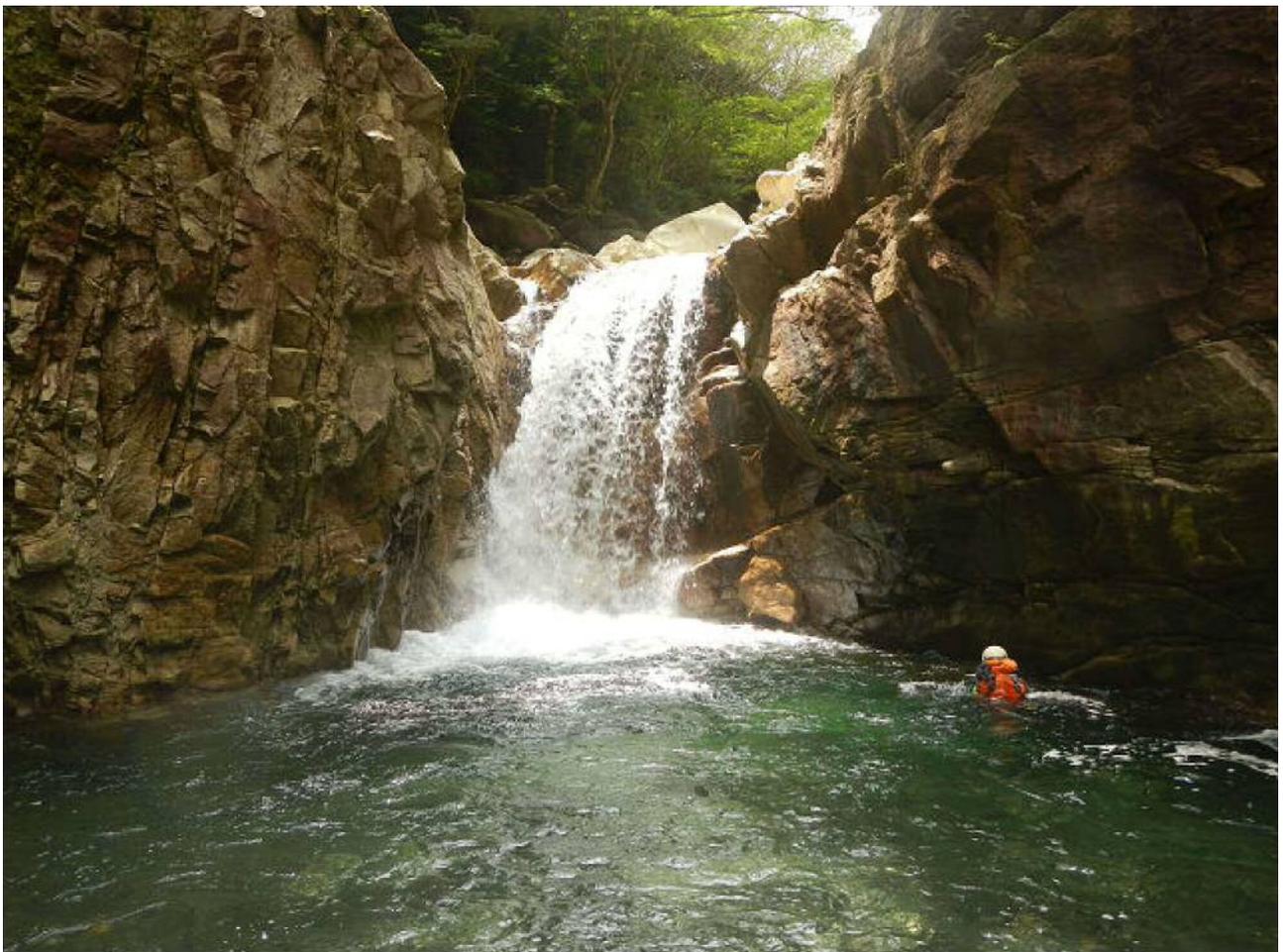
快適に登っていく



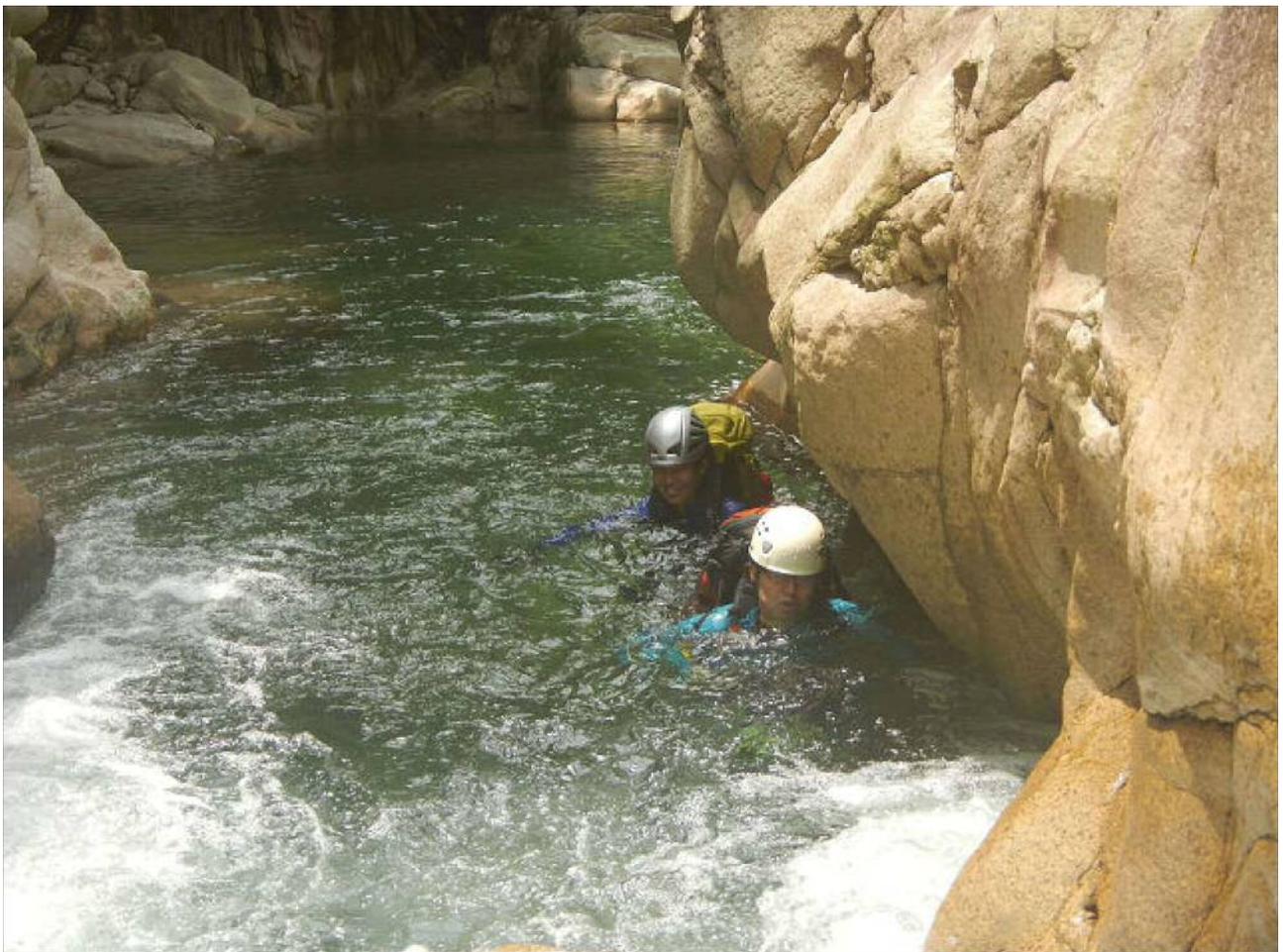
下谷尻谷の出会いを過ぎたあたり



花崗岩の回廊



天狗滝。水流の裏側に入れば登れる



まだまだ淵は続く



七丈淵？ここも泳いで突破



ヒロ沢との出会い手前。ここで遡行は終了

下山は右岸についでいる登山道を使った。一部で踏み跡が薄い所があるが迷うほどでは無い。

<タイム>

国道脇の駐車場7:20 – 神崎川林道入り口7:25 – 入渓9:00 – 遡行終了（ヒロ沢出合）
12:40 – 林道15:00 – 駐車場16:10

以上